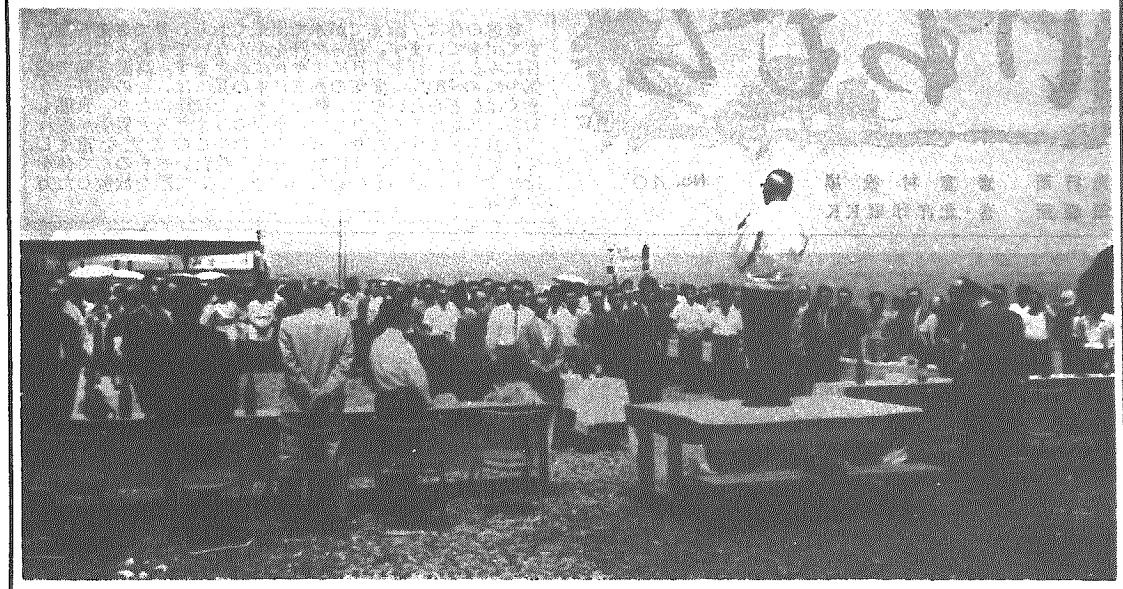


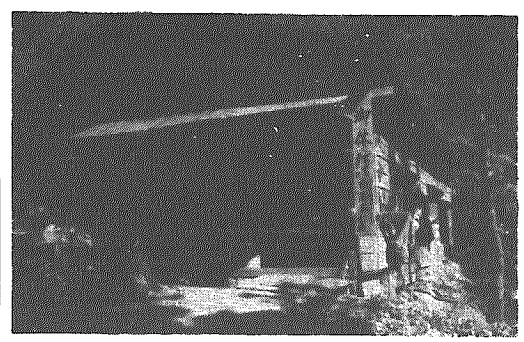
## 〝越後七浦〟と命名

昨年5月12日，間瀬地区婦人会の懇願で来村されて以来，駐車場の新設を約束，また海岸美の絶景にうたれ，自からその名づけ役をかって出られた塚田県知事が，7月27日，海上保安庁の巡視船で間瀬港へ上陸され，角田浜から寺泊を結ぶ18キロを「越後七浦」と命名された。

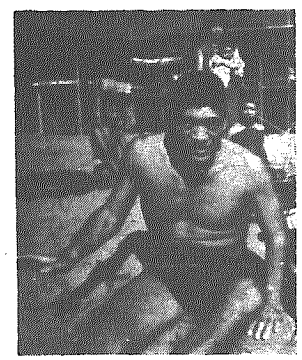
この七浦とは，越前浜・角田浜・五ケ浜・角海浜・間瀬浜・野積浜・寺泊浜をさし，縁起のいい，七福神の〝七〟にあやかり，今後の発展に努力しようと力説されていた。

沿道に並ぶ小・中学生徒の拍手が続く中を行く県知事。後は佐藤村長と本間議長。

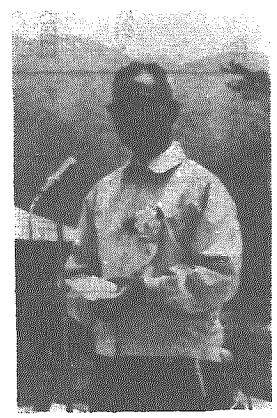
快速艇から間瀬港へ上陸される塚田県知事



白岩に青松の生える松林の中にひっそりと白岩荘がある。ここからは絶好な釣り場がすぐそばにある。（ボートの便あり）



プロレスラー，ジャイアント馬場選手がひょっこりと間瀬浜へ……



越後七浦と命名し，今後の発展に力を注ぐ……とあいさつをする県知事。

**布望の本があったらどうぞ**

○本の名



## 予約米代金

# 一億円が農家のふところへ

異常気象に始った今年の稲作も、平年並みに回復し政府売渡しの予約も完了した。今年の予約数は全部で九八、六五一個（俵）内訳は次のとおり。

**岩室農協扱い分**

うるち　六四、四二三俵
もち　二、七一二俵
予約者数　六一四人

**和納農協取扱い分**

うるち　三〇、四七三俵
もち　一、〇四三俵
予約者数　二七四人
合計　九八、六五一俵
八八八人

予約金は一俵について千円の割合でそれぞれの農家の預金口座へ入ったわけで、この計算によると岩室村へ九千八百六十五万一千円が入ったことになる。

これを昨年と比較すると予約数は五百六十四俵多く、予約者数は逆に二十三人減少している。

このあたりにも農家人口の減少と、経営規模の拡大が現われている。

なお一戸当り平均百十一俵を予約したことになる。

## 40年度予約一覧表

| 部落名 | 予約数量（俵） | 予約戸数 |
|---|---|---|
| 金池 | 1,426 | 24 |
| 石瀬 | 2,593 | 77 |
| 岩室 | 1,538 | 42 |
| 樋曾 | 1,483 | 37 |
| 尻引 | 1,041 | 14 |
| 田島 | 4,649 | 31 |
| 橋本 | 4,903 | 41 |
| 久田 | 1,495 | 13 |
| 猿瀬 | 1,779 | 12 |
| 南内 | 2,055 | 15 |
| 北野 | 3,305 | 20 |
| 夏井 | 8,005 | 76 |
| 西中 | 5,694 | 47 |
| 潟上 | 1,865 | 15 |
| 白鳥 | 1,470 | 8 |
| 西島 | 2,795 | 16 |
| 横曾根 | 2,819 | 22 |
| 西越 | 4,180 | 26 |
| 新谷 | 3,110 | 23 |
| 油島 | 3,245 | 22 |
| 高畑 | 7,685 | 33 |
| 原 | 5,300 | 21 |
| 津雲田 | 4,431 | 24 |
| 富岡 | 2,875 | 10 |
| 高橋 | 4,265 | 27 |
| 和納一区 | 1,278 | 13 |
| 〃二区 | 1,318 | 24 |
| 〃三区 | 1,879 | 25 |
| 〃四区 | 1,305 | 16 |
| 〃五区 | 3,089 | 32 |
| 〃六区 | 2,921 | 31 |
| 〃七区 | 1,775 | 33 |
| 〃八区 | 1,050 | 21 |
| 合計 | 98,651 | 888 |
| 平均 | 111俵 | |

## 牛乳の8月

## 和牛メモ

一年中で最も暑い時期に入った。家にいても、外へ出ても暑くてかなわない。このようなときには牛も同じこと。牛の身になって夏の管理に注意して、よい生産をあげよう。

**飼料と飼養**

○草生は除々に悪くなる。

○栄養のバランスに気をつけよう。

**管理**

○乳量、乳脂率がおちやすい時期です。飼養と管理に細心の注意を。

○昼間のけい牧は日射病のもと。必ず日陰で。

○牛舎の水洗いをかかさずに。

**衛生**

○器具、容器は殺菌、乾燥しておこう。

○さく乳は清潔な服装で、さく乳前の乳房の清拭は牛乳中の細菌を十分の一にする。初めのひとしぼり（五十倍もきたない）は、必ず別容器にとって捨てよう。

○牛乳は直ちに冷却し、充分かくはんして二等乳を防ごう。

一時間放置すると百倍汚れる。

## 子供を悪と水から守ろう

夏がやってきました。

すべての環境が変わるときです。

児童、生徒、学生は家庭に帰ります。

学校も、家庭も、地域社会も、そしてこれらの青少年の気もちも変ります。

目を覚ますともう父母のいないこどももいるでしょう。

クラブ活動にでかける子、受験勉強にあせる子、水泳や山にでかける子、夜あそびする子、遊び場のない子、そして働きにでる子、しかも夏は事故の多い季節です。

家庭が責任をもつ時期、うちの子に限ってと、子どもを信頼する親心は美しいのですが、その裏に人の子まではといった考えがひそんではいないでしょうか。

海水浴場などでよくみかけられることは、慰安気分もよろしいのですが、子どもの健康を増進させるという建設的考え方の上にたっていただきたいのです。

まだ、いたいけない児童や生徒が夜おそくまで、盛り場などウロウロし俗悪なメロデイを聞き、それを口ずさみながら歩いている子ども達、これは成人にも、大いに責任もあるが、これらの家庭も、大きく目を見張って、この夏、私たちの村から犯罪や、水の事故をなくするため、地域社会が温情と愛をもって守りましょう。

（村青少年問題協議会）

## 海岸救護所開設

# 村口赤分区が間瀬海水浴場で

水に親しむ季節、水の恋しい季節、大いにこの夏は、新設なった間瀬海水浴場で健康増進することも、バカンスの味にひたりたい。

ところが、海や河川は生きていることの自覚を常に身につけておかないと、とりかえしの出来ない、悔いても悔いない事故が起きる場合もあります。

お互に充分留意致しましょう。

本夏も昨夏と同じく、村日赤分区で救護所を左記の日割によって開設いたします。

なお観光協会もシーズンの間監視所を設置されております。

また間瀬小、中PTAの会員による監視所を設置して万全を期しております。

七月三十一日（土）
八月　一日（日）
八月　盆一日
八月　三日（火）
八月　土用二ノ丑の日
八月　七日（土）
八月　盆七日
八月　八日（日）
八月　十二日（木）
八月　十四日（土）
八月　十五日（日）
八月　十六日（月）
お盆